

「第三次北九州市健康づくり推進プラン」
若い世代に向けた取組みについて(主なものを抜粋)

資料3 1

	No.	事業名	事業概要
各種検査の推進	21	働く世代のオーラルヘルス推進事業	若い就労世代を対象に、歯周病検診を実施するとともに、歯周病予防に関する普及啓発を実施し、かかりつけ歯科医による継続的な歯・口腔の健康管理等による歯周病予防の推進を図ります。
	27	健康診査(がん検診等)	健康増進法に基づく各種がん検診の実施により、がんを早期に発見し、早期に治療につなぐことで、がんによる死亡率の減少を図ります。また、基本・若者健診を実施し、疾病の早期発見・早期治療及び重症化の予防を図ります。
	31	母子健康診査	妊婦や乳幼児に対する健康診査や新生児マススクリーニング検査等を公費助成することで、経済的な負担を軽減するとともに、母子の健やかな発育を支援します。
DXの活用	39	高血圧重症化予防の推進	就労世代や若い世代など保健指導等でアプローチが難しい層における高血圧の重症化予防策としてアプリを活用した血圧管理や健康学習、受診勧奨の有効性を検証します。
子育て対策	6	母親学級等の実施	母子の健康に関する知識を普及するため、妊娠中の健康管理、育児等に関する講義や、妊婦体操などの実習を取り入れた母親学級を開催します。また、夫婦が協力して出産・育児に取り組む大切さを学ぶため、沐浴や妊婦疑似体験等の実習を取り入れた両親教室を開催します。土・日曜日など父親も参加しやすい日に行います。
	7	育児教室等の実施	乳幼児の子育てや基本的生活習慣等に関する知識の普及を図るため、子どもの心と身体の発育・しつけなど育児に必要な知識を中心とした講義や交流会を取り入れた教室を開催します。また、土・日曜日開催や託児を設けるなど、開催方法等を検討し、参加しやすい教室を実施します。
	54	子育て支援総合コーディネーターの配置	「子育て支援サロン”ぴあちゅーれ”」に子育て支援総合コーディネーターを配置し、面接、電話、インターネット(メール)による子育てに関する相談の対応を行うとともに利用者に必要な関係機関との連絡、調整等の支援を行います。
	55	子育て支援員の育成・配置(保育所)	北九州市社会福祉研修所で「子育て支援員養成研修」を実施します。保育士を「子育て支援員」として養成し、子育て相談や育児サークルの支援等、地域に根ざす保育所として子育て家庭支援の中心的役割を担います。
社会参加支援	85	子ども・若者応援センター「YELL」の運営	社会生活を営む上で様々な課題や困難を抱えている子ども・若者を対象に、自立と社会参加に向けた総合的なサポートを行います。
企業の健康づくり	117	働く世代の健康づくり 地域・職域連携の推進	詳細は資料3(4)「働く世代の健康づくり 地域・職域連携の推進」参照

働く世代のオーラルヘルス推進事業 (No. 21)

生涯を通じた切れ目のない歯科口腔保健の推進に向け、若い若老世代の歯周病予防を推進するとともに、かかりつけ歯科医の定着促進を図るため、R6年度から、歯周病検診の対象者に30歳を新たに加えて実施している。

1 事業内容

(1) 歯周病（歯周疾患）検診の対象拡大

現在、40歳から70歳まで10歳毎の節目年齢の市民を対象に実施している歯周病（歯周疾患）検診について、30歳の市民を対象に追加する。

(2) 歯周病予防に関する普及啓発の強化

就労世代等に対して、職域(各保険者)等を通じ、リーフレットの配布等による普及啓発を行う。

2 根拠法令

健康増進法 第19条の2、歯科口腔保健の推進に関する法律 第7条・第8条

3 K P I

項目	ベースライン値	最新値	目標値
40歳で進行した歯周病を有する者の割合の減少	53.4% (R4)	52.0% (R5)	48.5% (R9)
かかりつけ歯科医がいる者の割合の増加（40～64歳）	69.0% (R4)	—	74.0% (R10)

<参考>



働く世代の健康づくり 地域・職域連携の推進 (No.117)

就労世代



《就労世代の健康課題》

- 肥満者が多く増加傾向
- 運動量が不足
- 40歳で進行した歯周炎のある人が約半数
- 肥満の原因となる食生活の乱れが見られる
- 睡眠による休養が取れていない人が多い



行政

企業等

保険者

- 《課題》
- 各団体が独自に健康づくりの取組みを展開しているため、効果が十分に発揮できていない
 - 企業等における健康づくりの取組状況がわからない など

R6年度実施内容

■健康づくり推進のためのプラットフォームの整備

「北九州市働く世代の健康づくり推進会議」の設置
(令和6年7月設置、年2回開催)

「地域保健」と「職域保健」の関係者がベクトルを合わせ、
官民協働一丸となり、より実効性のある取組みを実施



■市内企業における健康づくりの取組み状況を確認

「令和6年度企業の健康づくり実態調査」
(令和6年9月)

市内の小規模事業場における健康づくりの現状、経営者の意識等を確認し、今後の取組みを推進するための基礎データとする。

今後の取組み（予定）

連携体制の充実

■(仮称)普及啓発部会」の設置

効果的に事業を展開するため、市民や事業場の経営者等に接する機会のある団体で構成

関係団体の強みを活かし新たな手法を導入

■多様な主体との協働による健(検)診受診促進

国民健康保険加入者、社会保険加入者の被扶養者に対して乳がん検診の受診促進を実施

事業場単位での健康づくり活動を推進

■小規模事業場が行う健康づくり活動への支援

小規模事業場からの依頼に応じて、健康づくり活動の支援を行う

事業場における健康づくりの機運の醸成

■健康経営の推進

- ▶ 健康経営の啓発資材(チラシ、パンフレット)の作成・配布
- ▶ 関係団体による小規模セミナーの開催

就労世代

就労世代におけるWell-beingの実現

- ・ 生活習慣の改善
- ・ 各種健診受診率の向上 など

企業等

企業等における健康づくり(健康経営)の推進

健康寿命の延伸・健康格差の縮小

目指せ！
健康寿命
政令指定都市
No. 1

骨粗しょう症検診について (No. 42)

【取組状況】

令和6年度から、検診の自己負担額を1000円から500円に軽減するとともに、50歳の女性へ個別に受診勧奨を行うなど、受診率の向上に取り組んでいる。令和6年10月末時点で、前年度比 307人(15.4%)増。

1 骨粗しょう症検診の実施状況

(1)事業目的

骨粗しょう症の予防及びその予備軍となる低骨密度者の早期発見・早期治療を促すことを目的とし、骨粗しょう症検診を実施している。

(2)根拠法令・対象者

健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として実施。

厚生労働省「健康増進事業実施要領」では、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳及び70歳の女性を対象としている。

自治体によって受診年齢等が異なっており、本市は18歳以上の男女が対象。

(3)実施方法

集団方式(4検診機関が集団検診会場で実施)

(4)測定方法

DEXA法(前腕の骨密度をX線で計測する方法)

(5)受診率(全国との比較)

全国(R4)	北九州市(R5)	
40～70歳(5歳刻みの女性)	40～70歳(5歳刻みの女性)	18歳以上の男女
5.5%	1.2%	1.2%

※自治体によっては5歳刻みの女性のみ対象としていることや、DEXA法より精度が劣る簡易な測定法を採用しているところもあるため、単純に受診率の比較はできない。

(6)受診率推移

対象		R3	R4	R5	R6.10月 時点
18歳以上 (男女)	受診者数	2,875人	3,856人	4,290人	2,300人
	受診率	0.8%	1.0%	1.2%	0.6%
40～70歳 女性(5歳刻み)	受診者数	329人	461人	501人	
	受診率	0.8%	1.1%	1.2%	

↑5.3%(R9)以上を目標

2 本市の取組

(1)検診の必要性に関するホームページ

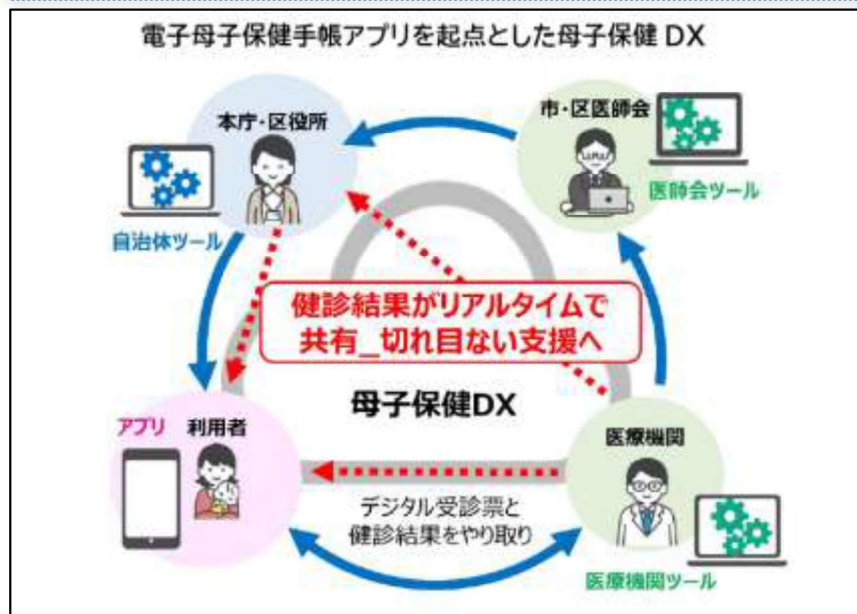
(2)女性の健康と検診に関するチラシ

(3)世界骨粗しょう症デー(10月20日)に合わせた市政だよりによる情報発信

(4)市健康づくりアプリによる情報発信

概要

電子母子手帳「きたきゅう子育て応援アプリ」を活用して乳幼児健診及び妊産婦健診の
手続きをICT化する。



【市民のメリット】

- スマホで受診票等の回答ができ、記入漏れを防げる
- 氏名、住所等を何度も書かなくてよい
- 医療機関での受付がスムーズ
- 健診結果がスマホで確認でき、家族と共有することもできる
- 健診結果がリアルタイムで共有され、切れ目ない支援へつながる
- アプリで情報を一元管理できる

進捗状況

乳幼児健診

令和4年度 システム構築
令和5年度 ワーキンググループ（市医師会、事業者、市）で協議を重ね、9月～開始
令和6年度末に63医療機関に拡大（予定）（107医療機関中）

妊産婦健診

令和6年度 システム構築中
令和7年度 開始予定



頭と体のいきいきトレーニング教室 (No. 44)

1 目的

市民が身近な地域で自主的かつ継続的に介護予防活動に取り組むきっかけづくりを目的に、フレイルや認知機能低下の予防に効果的な、運動、学習、創作活動等総合的なプログラムメニューによる教室を開催する。

【KPI】健康づくりや介護予防のために取り組んでいることが「ある」人の割合

R4:59.6% ⇒ R8:63%

出典:高齢者等実態調査(一般高齢者)

2 事業内容

- (1) 対象者 65歳以上の市民
- (2) 実施場所 各区1カ所 計7ヶ所
各教室定員25名
- (3) 実施回数 1ヶ所につき全8回、1回120分
- (4) 実施内容(詳細は次ページの通り)
 - 講話(高血圧・介護予防・ヒアリングフレイル)
 - ICT活用講座
 - 脳トレ(学習編・運動編)
 - 創作活動(カレンダーづくり)
 - グループワーク(興味・関心の発掘)
 - 認知症サポーター養成講座
 - ホームプログラムの提供(脳トレ問題・運動)

3 教室申込の状況(人)

	門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	計
申込数	34	33	30	39	19	56	40	251
倍率	1.4	1.3	1.2	1.6	0.8	2.2	1.6	1.4



実施内容

1 回 目	講話	教室の目的、正しい血圧の測り方
	学習	脳トレ問題
	運動	きたきゅう体操
	グループ	自己紹介ゲーム、コグニサイズ
	ホームプログラム提供	脳トレ問題
2 回 目	講話	介護予防、ヒアリングフレイル、生活習慣病予防
	ICT 活用	オンライン通いの場アプリ等の操作体験
	運動	きたきゅう体操、ブレパサイズ
	ホームプログラム提供	通いの場アプリの使用など
3 回 目	講話	興味関心発掘プログラムの目的
	学習	興味関心チェックシートの記入
	運動	きたきゅう体操、安全体操、ブレパサイズ
	ホームプログラム提供	安全体操の実施、脳トレ問題
4 回 目	グループ	興味・関心発掘プログラム
	運動	ながら体操
	ホームプログラム提供	脳トレ問題
5 回 目	講話	認知症サポーター養成講座
	運動	ながら体操、安全体操、ブレパサイズ、きたきゅう体操
	ホームプログラム提供	脳トレ問題
6 回 目	創作活動	カレンダーづくり
	運動	きたきゅう体操、ブレパサイズ
	ホームプログラム提供	カレンダーの記入
7 回 目	グループ	興味関心発掘プログラム
	創作活動	カレンダーづくり
	運動	きたきゅう体操、ながら体操、安全体操、ブレパサイズ
	ホームプログラム提供	カレンダーの素材の準備
8 回 目	創作活動	カレンダーづくり
	グループ	
	運動	きたきゅう体操、ながら体操、安全体操、ブレパサイズ

